

平成29年度
大海小 学校だより

6月号

おおみ

平成29年5月26日

校長 山本 洋

＝ 当たり前のことのできる大海っ子 ＝

先日、5・6年生と宿泊体験学習に行ってきました。五月晴れに恵まれた2日間、「金沢市キゴ山銀河の里」の少年自然の家で子ども達と寝食を共にしてきました。

子ども達は、規律正しく、みんな仲良く、協力して、すべての体験を楽しくやり抜きました。とても有意義な2日間でした。その生活の中で子ども達は、たくさんのお褒めをいただきました。大海小の職員からはもちろん、少年自然の家の職員からも多くの褒め言葉をかけていただきました。

- ・目を見て心のこもったあいさつをする。
- ・人の話を聞くときの姿勢、集中が良い。
- ・代表のあいさつが堂々としている。
- ・廊下を走らず移動をしている。
- ・5分前行動ができ、時間を守る。
- ・部屋の整頓がなされている。
- ・夜は、静かに速やかに就寝する。
- ・食事は残さずおいしく食べる。
- ・トイレ・下足箱・部屋の履物が常にそろえられている。そうじは無言で。



【入所のつどいであいさつや態度をほめられる児童】

校長としては、「大海小学校自慢の子ども達」と喜びました。しかし、よくよく考えてみるとほめられた事柄はすべて、毎日学校生活で普通にしていることです。あいさつ、チャイムと同時に学習開始、聞く姿勢、発言の仕方、給食、かかとそろえ、ルールを守る…当たり前のことばかりです。

当たり前のことのできる大海っ子、素晴らしいです。当たり前のことをするのは簡単なようで難しい。日頃から学校では当たり前のことばかりがきちんとなされている、このことを実感させられた宿泊体験学習でした。

＝ 大海小学校教育後援会総会 ＝

5月24日に、教育後援会の総会が開催されました。毎年、学校の児童に対して心温まるご支援をいただいています。大海地区だけに昔からある児童奨励を目的とした素晴らしい組織です。地域全戸から貴重なご芳志をいただき、それを基金として「学童相撲大会」（今年は7月22日に予定）の実施、年度末にはスポーツ・学芸・読書・善行等の面で成績が顕著であった児童を表彰するために使わせていただいております。どちらも大海小ならではの特色ある長く続く伝統ある行事です。会のメンバーは、会長をお願いしている西田二ツ屋区長をはじめとした校区の全区長、学校林を所有する大海財産区管理委員長、PTA役員などの皆さんがあたって下さっています。



今年度新たな事業として、古くなり破損が目立つ相撲場の改修と校地内の樹木の剪定に取り組むことになりました。相撲場や校庭の木々といった学習環境が整えられ、その中で子ども達が思う存分楽しく学校生活を送ることができることはとてもありがたいことです。

今年度新たな事業として、古くなり破損が目立つ相撲場の改修と校地内の樹木の剪定に取り組むことになりました。相撲場や校庭の木々といった学習環境が整えられ、その中で子ども達が思う存分楽しく学校生活を送ることができることはとてもありがたいことです。

校区の皆様、本当にありがとうございます。紙面を借りてお礼申し上げます。